

# KOSUKE KITAJIMA CUP 2019 追加要項

## 1 競技について

- (1) 本競技会は、2018年度（公財）日本水泳連盟競泳競技規則に則り実施する。背泳ぎはバックストロークレッジを使用する。
- (2) 競技は、予選・決勝とも10レーンで、タイムスケジュールどおりに行う。
- (3) 決勝は、予選の結果上位10名が出場できる。ただし、海外選手の決勝進出は2名を上限とする。なお、棄権者が出た場合は、次点上位より順次出場権を与える。
- (4) B決勝の出場は下記を条件とする。
  - 【小学生決勝がない種目】  
決勝進出者を除く予選上位10名の高校生・中学生・小学生を対象とする。
  - 【小学生決勝がある種目】  
決勝進出者を除く予選上位10名の高校生・中学生を対象とする。なお、棄権者または決勝への繰り上げ出場者が出たときは、次点上位より順次出場権を与える。
- (5) C決勝の出場は下記を条件とする。
  - 【小学生決勝がない種目】  
決勝・B決勝進出者を除く予選上位10名の高校生・中学生・小学生を対象とする。
  - 【小学生決勝がある種目】  
決勝・B決勝進出者を除く予選上位10名の高校生・中学生を対象とする。
- (6) 小学生決勝の出場者は、決勝進出者を除く小学生上位10名が出場できる。小学生決勝は、50m・100m・200m自由形、50m・100m背泳ぎ、50m・100m平泳ぎ、50m・100mバタフライ、200m個人メドレーのみ実施する。その他の種目は小学生決勝を行わないが小学生が出場することはできる。なお、棄権者が出たときは、次点上位より順次出場権を与える。
- (7) 決勝進出において、同記録で定員を超えた場合は、スイムオフを行う。B決勝・C決勝・小学生決勝は、抽選で優先順位を決定する。抽選は、予選競技のランキング表示後15分以内に本部席にて行う。なお、15分以内に抽選者が現れない場合は、実行委員会が代理抽選を行う。
- (8) 補欠が同記録で複数いる場合は、抽選を行う。補欠は2名とする。
- (9) エントリー数が10名以下の場合でも予選競技を行う。
- (10) 招集は競技開始20分前から行う。本人確認のために、招集所にはADカードを持参すること。招集所受付で水着の確認を行う。
- (11) 予選競技およびタイムレース決勝競技を棄権する場合は、実施当日の8時30分までに招集所に棄権用紙を提出すること。時間外の提出は、棄権料1,000円を徴収する。（800m・1500mの棄権についても最終組の棄権者により選手の繰り上がり、組み替えがあるので、午前8時30分までの提出とする）
- (12) 小学生決勝・B・C決勝および決勝の棄権はできない。やむなく棄権する場合は、該当競技終了後30分以内に招集所に棄権料1,000円を添えて届けること。該当競技終了後30分以内に棄権用紙を提出しなかった場合は無断棄権とみなす。
- (13) 予選競技・タイムレース競技・小学生決勝・B決勝・C決勝・決勝を無断で棄権した場合は、棄権料とは別に罰金3,000円を徴収する。棄権料・罰金に関して、当該選手が所属する団体は連帯してその責務を負う。
- (14) 800m・1500m自由形における周回通知は、折り返し側の台上に周回板を提示する。
- (15) ゴールタッチはタッチ板の有効面に確実にタッチすること。
- (16) 予選競技では、競技成立後は水中で待機し、次の競技開始後、プール横から退水すること。但し、背泳ぎは、競技終了後速やかに退水すること。
- (17) 選手紹介は、予選は組のみの紹介、B決勝・C決勝・小学生決勝は各レーンで紹介、決勝は入場ボード前で氏名・所属名の紹介を受けてから入場する。

## 2 表彰について

- (1) 表彰は決勝競技終了後、各種目1位～3位にメダルを授与する。(B決勝・C決勝・小学生決勝は除く)小学生決勝は、各種目1位～3位に賞状を授与する。
- (2) 最優秀選手、学種別の優秀選手(小学生・中学生・高校生)の対象から海外招待選手は除く。
- (3) 最優秀選手・優秀選手は決勝競技におけるFINAポイントで選考する。ただし、世界記録・日本記録・大会記録の樹立者には追加ポイントを与える。

## 3 朝の入場について(大会1日目・2日目)

- (1) 入場は、7時00分に2階ゲートから入場する。
- (2) 入場順は下記のとおりとする。  
各団体代表者1名(参加選手数の多い順とする)  
以外の監督、顧問、コーチ、マネージャーなど  
出場選手
- (3) 保護者および一般観覧は両日とも7時20分に開場する。

## 4 選手の控え場所について

スタンド観覧席

メインプール：ウッドデッキの一部

サブプール：プールサイドでトレーナーズベッドの使用可。(赤台上での使用は禁止)

スタート側の一部は、練習時の荷物置場のため場所取り不可。

更衣室からメインプールへ出るシャワー脇のスペース

観覧席からダイビングプールに降りる階段スペース、電光表示板裏のスペース、観覧席脇の平面スペース、レストラン側入口からプール入場ゲートまでのスペースに敷物等を使用しての場所取りは消防法により禁止する。

## 5 インターナショナル標準記録突破選手について

2018年日水連インターナショナル標準記録突破選手は、大会運営における安全管理上の観点から下記の対応を行う。

- ・関係者入口(警備員室前)からの入場を認める。(開場時刻7:00)
  - ・専用控室(サブプール更衣室)の利用を認める。
- (注意)関係者入口から入場して専用控室以外の場所取りはできない。

## 6 ウォーミングアップ時のプールの使用について

### (1) メインプール

水深2m、水温27.5度とする。

ウォーミングアップは、競技開始15分前までとする。

1レーンはスタート側から、10レーンは折返し側からのダッシュレーンとする。

9レーンはペースレーンとする。(クロールのスイムのみ、他の種目およびキック・プル練習は禁止)

公式スタート練習は、1レーンで、8時15分から8時45分まで行う(スタート側から)。人数によりレーンを増やすことがある。

パドル・コード類の使用は禁止する。

決勝前のウォーミングアップは、当日の指示に従うこと。

### (2) サブプール

水深1.4m、水温27.5度とする。

6レーンはペースレーンとする。

サブプールではダッシュレーンは設けない。

パドル・コード類の使用は禁止する。

プールサイドのスタート側から15m付近までの赤台は、練習時に使用する荷物置場とする。

サブプールの更衣室は使用できない。

競技中のホイッスルの使用は禁止する。

## 5 抗議

本競技会は上訴審判団を設置する。

競技に関する抗議は、事象発生後30分以内にその団体の監督または代表者が抗議書に必要事項を記入の上、抗議料10,000円を添えて大会本部に提出すること。

## 6 その他

A/Dコントロールについては「A/Dコントロール実施について」を参照すること。

全ての競技者は競技終了後、予選・決勝を問わずミックスゾーンを通り退場すること。

表彰時において、小旗・タオル・部旗などの持ち込みは禁止する。

プールサイドでは室内履きに関し限り使用を認める。

プログラムを1部1,000円、決勝スタートリストを1部200円で販売する。

ロッカーに放置したものは、忘れ物として扱う。全ての忘れ物は、プログラム販売所付近に置き、2日目競技会終了後破棄する。

辰巳水泳場前や近隣への路上駐車は禁止する。また、送迎や駐車場空き待ちでの路上停車も禁止する。悪質な場合は、警察と連携し対応する。

# 公式練習日について

公式練習日 平成30年11月16日(金)

会 場 東京辰巳国際水泳場メインプール(50m10レーン・水深2M)

時 間 15:00 ~ 18:30

レストラン側入口から入館すること。(開場時間15:00)

入館は、選手・監督・コーチ・チーム関係者のみとする。一般の入場はできない。

更衣は、メインプール更衣室を利用すること。

荷物は個人またはチームの責任で管理すること。

メインプールの利用方法は、追加要項「6 プールの使用について」に準じる。ただし、公式スタート練習は行わない。また、変更がある場合は、電光掲示板に表示する。

トレーニングルーム等の他のエリアは一般開放中のため立ち入りは禁止とする。

プールサイドは一部設営作業を行っているので注意すること。

その他、不明な点は係にお問い合わせください。

入口にてADカードの受け取りができます。前日公式練習を利用の団体は受け取りをお願いします。大会当日の入場がスムーズになります。